



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

薪割り大作戦 & ウォーク2014



【京都大阪森林管理事務所】 12月2日(火)～4日(木)、高台寺山国有林において「第5回薪割り大作戦」を、また、6日(土)には「薪割り大作戦&ウォーク2014」を京都大阪森林管理事務所、京都伝統文化の森推進協議会、朝日新聞社、京都市などの共催により開催し、一般公募の参加者を含め総勢約210名が参加しました。当所からは延べ10名、さらにグリーンサポートスタッフの2名、京都オールドフォレストーズの会より4名が参加しました。四季折々の借景が美しい京都の森は、昔は建築資材や薪、炭などを

利用する目的で人の手が入ることによって保たれ、それが自然と共生する京都の伝統文化と評されてきました。ところが、戦後のエネルギー革命によって薪炭材の利用が大幅に少なくなり、京都の森は人の手が入らなくなり、人々の関心も薄れていきました。

このイベントは、近年、京都の森の変化に危機感を覚えたり、里山に対する関心を持つ方々が増えてきたことから、京都三山のうち、常緑広葉樹林への変化が著しく、四季の移ろいを感じにくくなった東山において、森の現状について解説を聞きながら散策する「ウォーク」と、ナラ枯れや林相改善のために伐採した常緑広葉樹等の「薪割り」を通じて、広く一般市民の方々に「木を使うことが森を守ることにつながる」ことを体感してもらい、より多くの方々が東山に関心を持ち、京都三山について考えるきっかけとなることを期待して開催しました。

薪割り大作戦では、祇園商店街振興組合等の京都伝統文化の森推進協議会関係者により、薪割り～小割り材の結束～集積作業を行いました。

「薪割り大作戦&ウォーク2014」では、まず、東山区栗田口にある「あおくすの庭」に集合した一般公募の参加者約140名が15名ほどの班に分かれ、京都森林インストラクター会の会員の案内で、順次薪割り会場のある東山山頂公園を目指しました。道中では、高台寺山国有林の中を自然観察しながら歩きました。途中、ナラ枯れ被害木のところでは、10年近く続いたナラ枯れ被害は減少しているものの、引き続きナラ枯れ対策による東山の保全が重要であるという解説を行いました。実際に枯れた木を目の当たりにした親子連れの参加者からは、森の手入れの重要性を実感したという感想が聞かれました。

東山山頂公園に到着した後は、安全のためヘルメットと軍手を身につけ、いよいよ薪割りの開始です。作業は、手動薪割り機や斧を使った薪割り、針金を使った小割り材の結束、集積場所への運搬です。斧を使った薪割りは始めてという女性や児童も担当者の指導に従って重い斧を振り下ろし、また、手動薪割り機では小学生が力いっぱいレバーを押して木が割れる感触を味わいました。また、針金を使った結束作業では様々な形をした小割り材を隙間なく詰め込むのに四苦八苦している場面が見受けられましたが、だんだん慣れてきたのか薪の束の山がどんどん出来上がりました。結束した薪は重く、一輪車で運ぶのはバランスをとるのが結構むずかしいのですが、小学生の兄弟が力を合わせて運んでいる姿にたくましさを感じました。当日は気温が低く大変寒い日でしたが、お昼に差し入れられた豚汁やクロモジ茶で心も体も温まり、午後も子供たちは丸太切りに挑戦したり、輪切りした木片に絵を書いたりして楽しみました。

地域の関係者の協力のもと、市民、行政、マスコミ等が一体となって、このような作業体験イベントを開催することができ、多くの市民の皆さんに京都の森の現状と森林の保全・管理の重要性を理解していただくことができました。今後も、このようなイベントを通じ、森林について多くの市民の関心が高まることが期待されます。

ニュース

『見て・さわって・樹木と友だちになろう 第3回「秋」』

【森林整備部 技術普及課】 11月24日(月・祝)、近畿中国森林管理局及び毛馬桜之宮公園において、「木と緑の相談室」が主催するイベント『見て・さわって・樹木と友だちになろう』を開催しました。このイベントは、近畿中国森林管理局が開設している「木と緑の相談室」が国有林を知っていただくため、また、森林の役割や大切さについて理解を深めていただくために、平成24年度から実施しているものです。今年度は『見て・さわって・樹木と友だちになろう』をテーマに開催し、今回が今年度最後のイベントとなりました。

当日は好天に恵まれたこともあり、午前の部に26名、午後の部に21名と募集定員を超えて参加いただきました。

【公園の樹木観察】

紅葉も盛りを迎えた公園で、樹木について少し詳しく学ぶ「観察グループ」と、小さな子どもから楽しめる「お散歩グループ」に分かれて、



森林インストラクターの方に案内していただきながら、公園を散歩しました。紅葉するメカニズムや樹木の豆知識、そして日常生活とのつながりまで、いろいろな発見をされていました。

【クラフトづくり】

今回のテーマは、木の実を飾るミニ・リースと落ち葉のしおりやパウチ作り。リースの材料となる



蔓や木の実は、大阪森林インストラクター会の皆さんが山で集めて来てくださいました。落ち葉は、各自気に入ったものを公園で選びました。思い思いの作品作りに、子どもから大人の方まで熱中されていました。

【参加者の声】

「このすばらしい秋の日々を孫たちにどう伝えたいのだろうと思案していました」「こどもたちに自然のものを使った工作をさせたかったので参加しました」「家族と一緒に散歩したり、工作ができて楽しかった」「何気なく通っていた公園にいろんな木々があることを教え

てもらい、勉強になりました」等の感想をいただきました。

素敵なお土産やキレイな落ち葉とともに、参加者の皆様の記憶に残る一日になったことを願っています。ご参加いただいた皆様、お疲れ様でした。スタッフとして企画・運営を担当いただきました大阪森林インストラクター会の皆様、有難うございました。



『森林の仕事ガイダンス2015 大阪会場』

【総務企画部 総務課】 1月24日(土)、13時から17時まで、大阪マーチャングイズ・マート(OMMビル)において、「全国森林組合連合会」主催の『森林の仕事ガイダンス2015』が開催され、20道府県が相談ブースを出展しました。

この『森林の仕事ガイダンス』は、新たな林業の担い手の確保・育成を目的に、森林・林業に関心を持つ方を対象に実施する説明・相談会で、2003年より開催さ



れています。

参加者の半数以上は20～30代で、女性の参加者も多く見られました。

参加者は、緑の雇用や林業の基礎を学ぶ「オリエンテーション」を受けた後、各々の目的に応じたブースを訪ね、情報収集や相談を行っていました。

ステージイベントとして行われた「緑の研修生トークショー」では、「やおよろずの森」代表で、女優・キャスターである葛城奈海さんを司会進行役に、現場で働く緑の研修生が、林業の魅力などについて話されました。

今回の森林の仕事ガイダンスの様子は、「緑の雇用ウェブサイト (<http://www.ringyou.net/>)」に、公開される予定となっています。興味のある方は、ぜひご覧ください。



お知らせ

第66回全国植樹祭を記念して
地域リレー植樹・イベントが開催！

石川県の各市町では、2014年10月から2015年4月にかけて、地域リレー植樹が開催されます。

地域リレー植樹は、2015年に石川県で開催される第66回全国植樹祭の開催気運の醸成と、県民参加による森づくりを推進することを目的として、県内全市町が、それぞれの地域特性に応じた植樹イベントを実施します。

～国有林内で開催されるイベント～

小松市地域リレー植樹

～海岸防災林の植樹体験と木製キーホルダー作成体験～

- * 開催日 平成27年3月6日(金)・7日(土)
- * 場所 小松市安宅林国有林内
- * 参加者 6日：小松市立安宅小学校5年生(60名)
7日：緑の少年団等(240名)
- * 内容 参加者による石川県産抵抗性クロマツの植樹、木製キーホルダーの配布、丸太切り体験(希望者)など。

加賀市地域リレー植樹

～未来へつなぐ海岸林の保全～

- * 開催日 平成27年3月8日(日)
- * 場所 加賀市浜山国有林内
- * 内容 地域の子ども達を中心に、石川県産抵抗性クロマツの植樹など。

”学生のための「官庁公開
フェスティバル2015」”のご案内

林野庁近畿中国森林管理局では、学生の為の「官庁公開フェスティバル2015」を開催します。国家公務員を目指している方、森林・林業や自然環境に興味のある方、林野庁について知りたい学生の皆様のご参加をお待ちしております。

- * 開催日時
平成27年3月9日(月)・10日(火)
第1回：10:00～11:30
第2回：13:00～14:30
- * 定員
各回15名 ※状況により変動する場合がございます。
- * 参加予約
平成27年3月3日(火)～9日(月)
(平日：午前10時～午後5時まで)
- * 内容
業務紹介・職員との懇談・質疑応答・執務室の見学等
- * 開催場所
近畿中国森林管理局 4階：第3会議室
- * その他
参加希望の方は、必ず事前予約が必要です。参加希望者が定員に達した場合は、受付を終了させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- * 詳細・応募先・問い合わせ先
近畿中国森林管理局 総務企画部 総務課：人事係
TEL：06-6881-3421、3434(直通)
HP：http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/soumu/g-festival_2015.html

花草木

今月の花草木は「ツバキ(椿)」です。

ツバキは、ツバキ科ツバキ属の常緑樹で、照葉樹林の代表的な樹木として知られています。日本原産で、本州、四国、九州、南西諸島、国外では朝鮮半島南部と台湾に分布しています。本州中北部にはごく近縁のユキツバキがありますが、ツバキは海岸沿いに青森県まで分布し、ユキツバキはより内陸標高の高い位置にあってすみ分けています。

ツバキの花は、古来から日本人に愛され、京都の龍安寺には室町時代のツバキが残っているそうです。江戸時代には江戸の将軍や肥後、加賀などの大名、京都の公家などが園芸を好み、庶民の間でも大いに流行したことから、たくさんの品種が作られました。

ツバキは生長すると樹高20mほどになりますが、日本のツバキの大木はほとんど伐採され、現在では入手の難しい材となっています。代表的な用途は印材や将棋の駒で、近年は合成材料の判子が多くなりました。

また、新潟県・長崎県などの「都道府県・市区町村等の木」となっています。ツバキの名所として、平岡八幡宮、靈鑑寺(京都府京都市)、舞鶴自然文化園(京都府舞鶴市)、浄安寺(京都府久御山町)、白毫寺(奈良県奈良市)、笠山椿群生林(山口県萩市)などがあります。

森林のギャラリー(局庁舎1階)

【2月の展示スケジュール】

テーマ：近畿中国森林管理局の取組紹介

2/2～2/27 近畿中国森林管理局各署の取組紹介

【近畿中国森林管理局】

シリーズ 保護林 第20回

近畿中国森林管理局の保護林

大塔山モミ・ツガ・ブナ植物群落保護林 [紀南森林計画区]



大塔山モミ・ツガ・ブナ植物群落保護林は、和歌山県田辺市に位置する大塔山国有林にあります。モミ・ツガ・ブナの林分を保護することを目的としています。

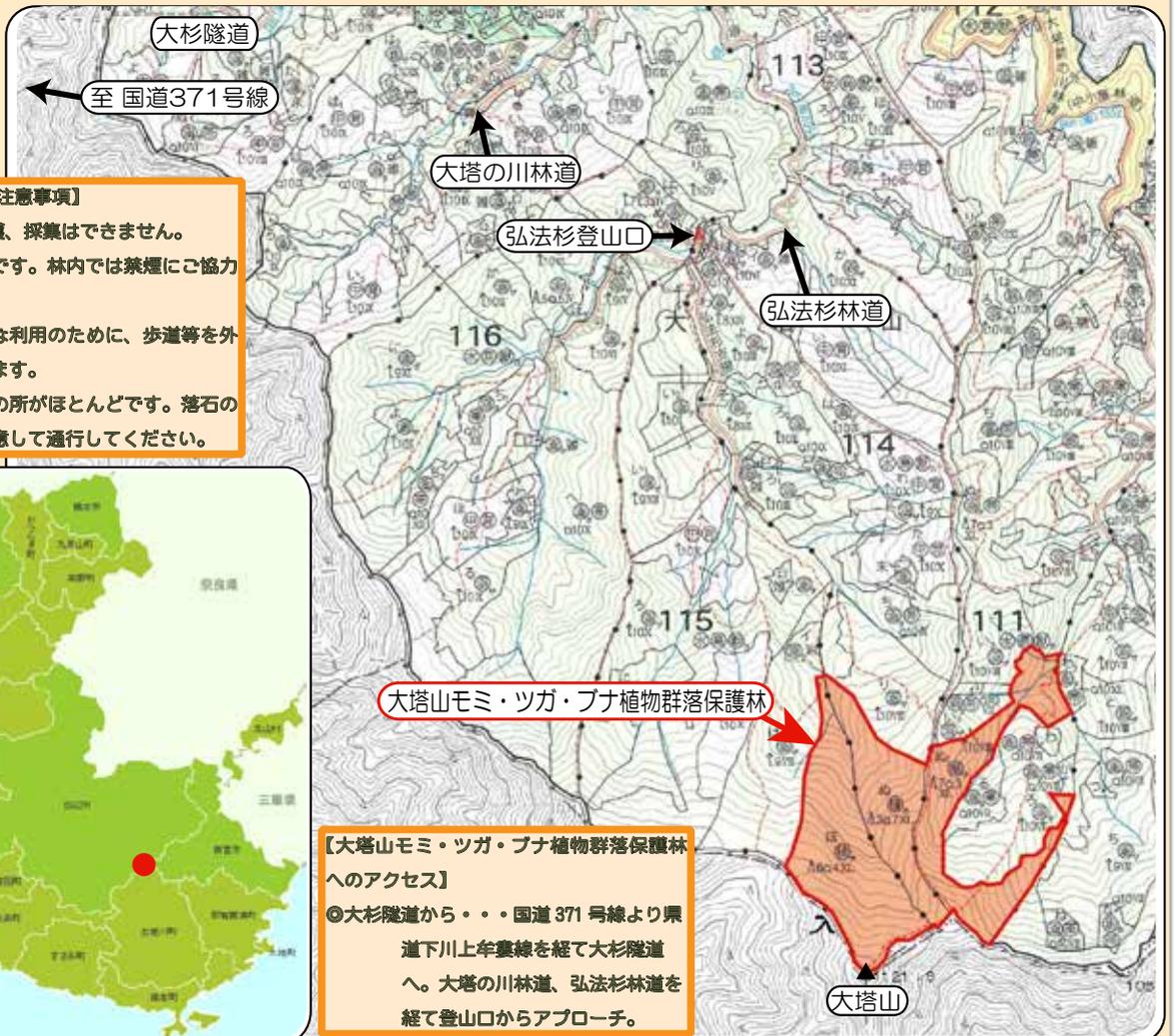
この保護林の面積は29.57haで、水源かん養保安林、鳥獣保護区、カモシカ保護地区にも指定されています。

大塔山(1121.8m)では、登山道が整備されており、休日には登山者が訪れています。

【大塔山モミ・ツガ・ブナ植物群落保護林に生息・生育する動植物】

- ◎植物：モミ、ツガ、ブナ、アカガシ、ウラジロガシ、ヒメシャラ、サカキ、ミズメ、タムシバ、コミネカエデ、シキミ、シロモジ、タンナサワフタギ、ツクシシャクナゲ、スズタケ、シシガシラなど
- ◎動物：ニホンザル、ニホンジカ、ツキノワグマ、イノシシ、キツネ、タヌキ、アナグマ、エゾアオカメムシ、クロシオキシタバ、キイオサムシ、セダカテントウムシダマシ、ヒメハルゼミ、クチキコオロギなど

- ### 【保護林及び国有林内での注意事項】
- ★国有林内の動植物の捕獲、採集はできません。
 - ★国有林内では火気厳禁です。林内では禁煙にご協力ください。
 - ★自然環境の保護と安全な利用のために、歩道等を外れないようにお願いします。
 - ★林道は幅が狭い未舗装の所がほとんどです。落石の危険性もあります。注意して通行してください。



- ### 【大塔山モミ・ツガ・ブナ植物群落保護林へのアクセス】
- ◎大杉隧道から・・・国道371号線より県道下川上牟婁線を経て大杉隧道へ。大塔の川林道、弘法杉林道を経て登山口からアプローチ。